

平成29年度の年間の活動

1. 管理組合活動内容

1) 管理組合総会

5/28 開催

前期の決算報告、今期の予算承認、まちなみコンクール受賞の報告 等

2) 理事会の開催

10回開催

3) イベントの開催

管理組合総会後のBBQ、ハロウィンパーティー、餅つき

4) 管理組合の運営

植栽の剪定、共用地の植生ブロックの修繕など

2. まちなみコンクール受賞に伴う活動

1) まちなみコンクール受賞式の出席

副理事長が出席し、全国の事例にふれることができ、今後の管理組合の運営に生かせるところがあるのではないかと考えています。また、受賞式の写真などをフェイスブックにあげることにより、受賞団体である意識が住民の方々も感じる事ができたように思います。

2) まちネット運営委員会の開催

授賞式と違い、運営委員の方々に実際に来てもらい、見てもらうことによって、色々な意見をいただいたりすることで、今後の管理組合の運営の参考となりました。

受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. 調査検討費を利用する活動

1) 長期修繕計画の策定

管理費の余剰金を長期修繕費用として積み立てているが、どこまで積み立てればよいか
が不明なままとなっている。現状の管理費をこのまま続けていくのか、将来的に減額あ
るいは増額するのかを把握することが必要であるため、策定中。

2) ゴミ置場の改善

ゴミ置場のカラス対策が必要という意見が多くあり、改修を検討および実施。

3) コミュニティスペースの充実

理事会などの集会スペース、および施設の検討。

2. 次世代も住みやすい環境づくり

将来的に、ここで育った子供たちが、戻ってきたくなるようなまちとするために、記憶
を残すための活動が必要であると考えている。

1) コミュニティスペースの充実

共用地に何らかの施設を子供たちと一緒に作る（例：ピザ窯など）

2) 暮らしぶりの記録を残す

サトヤマヴィレッジでの暮らし方を記録する冊子をつくることで、記憶を残したい。ま
た、これをつくることにより、ここで育った子供たちが、戻ってきたくなるようなまち
になるのではないか。

調査検討費の使途

- 長期修繕計画の策定
- ゴミ置場の改善
- コミュニティスペースの充実

近い将来取り組まなければならない課題

ここの住民は、ほぼ同じ時期に入居してきたこともあり、遠い将来子供たちのいないまちになることは容易に想定されることであります。前述のように、将来的に、ここで育った子供たちが戻ってきたくなるようなまちとするために、記憶を残すための活動が必要であると考えています。

そのために、このまちでの記憶となるようなワークショップを行いたいと考えています。例えば、共用地に何らかの施設を子供たちと一緒に作る（例えば、ピザ窯など）を検討中です。

また、サトヤマヴィレッジでの暮らし方を記録する冊子をつくることで、記憶を残したい。また、これをつくることにより、ここで育った子供たちが、戻ってきたくなるようなまちになるのではないかと考えています。